



います。また、防犯や交通安全対策とも管理体制の一元化を図り、安全・安心なまちづくりに努めます。

本地区において懸念されている、南海トラフ巨大地震の発生に備え、平成二十五、二十六年度にかけてBCP業務継続計画を策定しました。大規模災害が発生した場合でも適切な対応が可能となるよう職員に徹底してまいります。さらに、最新の地震ハザードマップを効果的に活用するとともに、実践的な図上訓練の実施により、災害対応能力の向上を図ってまいります。

併せて、町内のコンビニエンスストア7店舗にAED機器を設置してまい

ります。これにより、24時間、365日、AEDを使用することが可能になり、救命率の向上はもちろんのこと、町民の皆様にとって大きな安心を与えることができると考えています。

なお、設置時期については、5月を予定しています。

宮城県東松島市への職員派遣については、平成二十七年度的におきましても、引き続き1名の職員派遣を行ってまいります。



防犯対策として、総合福祉センターの計3箇所に、6台の防犯カメラを新たに設置してまいります。これにより、平成二十六年度の設置分と合わせ、町内7箇所の公共用施設に14台の防犯カメラを設置することとなります。

防犯カメラは、犯罪の抑止を図り町民の皆様の安心感を高める上で、非常に効果的である一方、映像の漏えい等の防止など個人のプライバシーの保護を確保するための十分な管理が必要です。管理運用基準に基づき、個人のプライバシー保護に十分配慮しながら適切な運用を行ってまいります。

また、安心して暮らせるまちづくりに向け、引き続き、消費者対策にも尽力してまいります。

ハード面の整備として、新たな河川計画を策定するとともに、その流量量に応じた久田良木川排水機場の能力調査を実施してまいります。併せて、町営住宅については、町営住宅長寿命化計画に基づき、屋上防水工事を実施します。

目標 4 地球にも人にも優しい持続可能なまち

「目標 4 地球にも人にも優しい持続可能なまち」です。

東日本大震災以降、再生可能エネルギーの普及は、国の中・長期的な課題となっております。また、地球温暖化抑制のための取組は、国際的な要請でもあります。

温室効果ガスの発生を抑制するため、防犯灯のLED化を引き続き進めてまいります。

平成二十七年度的は、新たに100基のナトリウム灯をLED灯に切り替えます。平成二十四年度以降進めてまいりました切替えにより、来年度には町全体の約9割の防犯灯がLED化されることとなります。

また、商工会が管理する街路灯についても、新たなLED化への補助制度を設け、取り組んでまいります。町内のおよそ100基の街路灯の水銀灯及び看板部のLED化とともに、カバー交換、灯柱の再塗装を実施します。

住宅用太陽光発電システム設置費用の補助についても継続して行い、町民の地球温暖化に対する意識の向上を図ります。また、公用車の低燃費車への切替計画に基づき、2台の公用車をより燃費の優れた車に更新します。町業務に伴う環境への負荷を減らすとともに、日常的経費の節減にも努めてまいります。